

のぼりベックマ牧場 園内マップ

NOBORIBETSU BEARPARK MAP

クッタラ湖  
Lake Kuttara

メスは非常に活発で、2本足で立ったり、寝そべったり、ひょうきんなポーズでおやつをおねだりします。



北海道に生息しているエゾリスや、シマリスを飼育展示しています。巣箱に隠れている事もありますが、ぜひ足を運んでみて下さい。



丸太渡りや餌探しなど、ヒグマの優れたバランス感覚や手先の器用さをご覧ください。



ポロチブ（大きな舟）やタマサイ（首飾り）など、アイヌ民族の貴重な生活用品を展示しています。



失われつつあるアイヌの貴重な文化遺産を保存し、有形無形文化財を後世に伝えるため、明治初期の生活様式を再現しています。



人間がまるで檻の中に入っているような造りになっており、クマ達はその周りを取り囲んでいますので、狙われる獲物になったような体験ができます。



ヒトのオリ  
Human Cage

第2牧場  
(メス)  
Second Enclosure

第1牧場  
(オス)  
First Enclosure

リスの杜  
Squirrel Enclosure

クマ山ステージ  
(クマのアスレチック)  
Bear Athletic

ユーカラの里  
Ainu Village

生活用具のチセ  
(アイヌ生活資料館)  
Ainu Museum



オスはメスの約2倍のサイズ。目の前で繰り広げる威嚇行動や、背中をこすってマーキングをする背こすり行動は迫力満点。

クマのおやつ売り場  
Bear Snack Shop

アヒルの競走  
Duck Race



首にリボンを巻いたアヒルたちが、ゴール目指して疾走します。1着でゴールするアヒルを見事の中させると、特製オリジナルグッズを進呈します。

クマ山神社  
Shrine

山頂駅  
Ropeway Terminal

子グマ牧場  
Cub Enclosure



ぬいぐるみのような子グマたち。食べたり遊んだり、お昼寝したり。毎日スクスク成長しています。

ポンチセ  
Pon Chise (Small House)

ポロチセ  
Poro Chise (Big House)

屋上: クッタラ湖展望台  
Lake Kuttara Observatory  
2F: ヒグマ博物館  
Brown Bear Museum  
1F: クマ山カフェ  
山頂売店  
Bear Mountain Cafe / Shop



日本屈指の透明度を誇るクッタラ湖を展望することができます。



世代別の剥製や骨格標本、クマの起源と歴史、ヒグマの習性と生態などの資料を多数展示しています。

山麓駅から山頂まで全長約1260m、高低差約300mを片道約7分で一気に駆け登ります。



コーヒー・スイーツはもちろん、クマの足あとをモチーフにしたカレーや、ホットサンドなどの軽食まで多数取り揃えています。